資料１－１

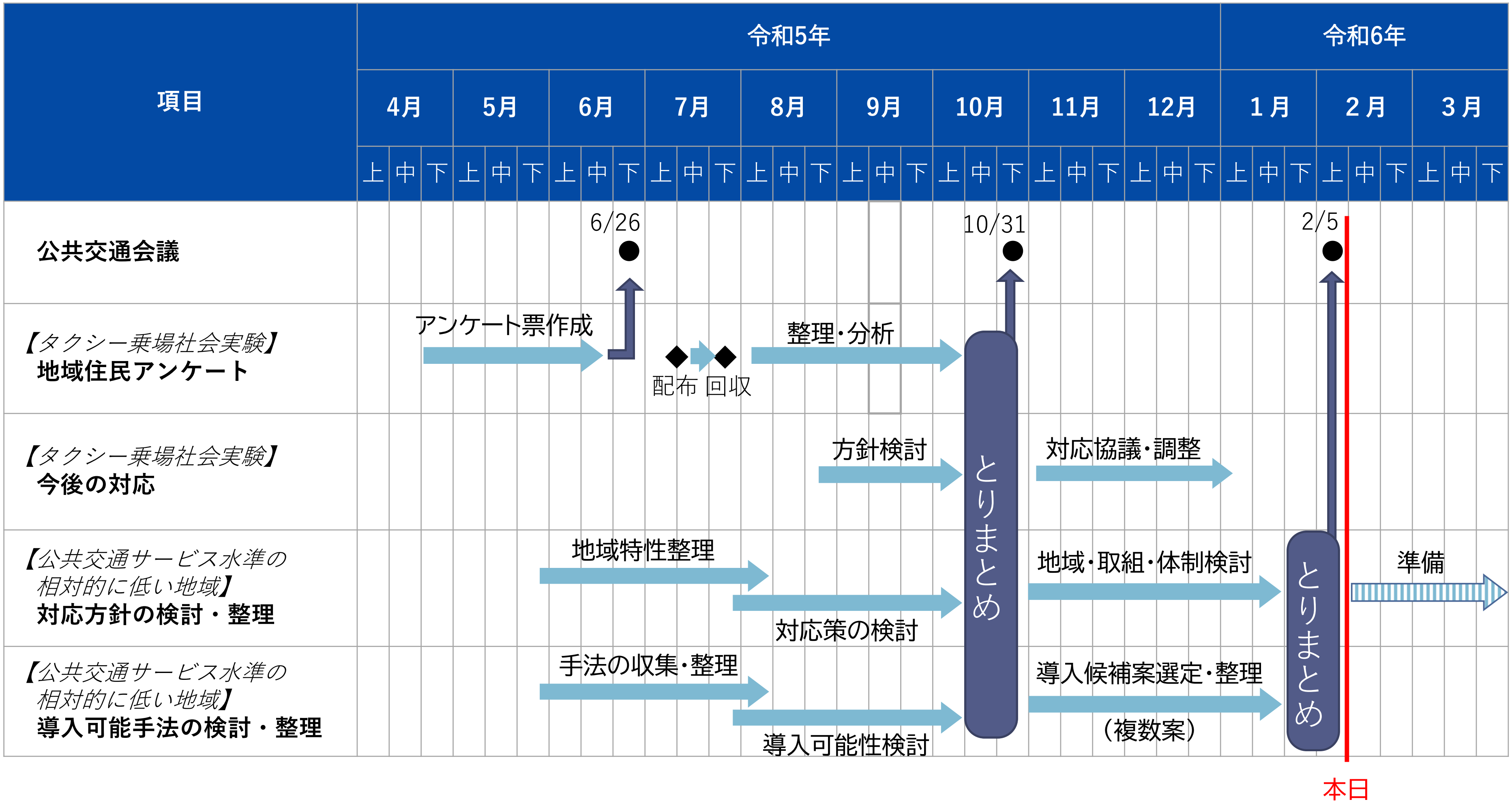
公共交通サービス水準の相対的に低い地域への取組みについて

板橋区 都市整備部 都市計画課

○公共交通サービス水準の相対的に低い地域への取組みについて

① 令和5年度の取組みについて

◆令和5年度の取組みスケジュール



○公共交通サービス水準の相対的に低い地域への取組みについて

本年度のこれまでの検討フローと次年度の方向性

第1回（R5.6.26）

・既存の公共交通の最大限の活用について

・タクシー乗場社会実験地域住民アンケートについて

（↓）
・アンケートの実施、分析
・地域特性、対応策の整理、検討
・導入サービス候補の抽出

第２回（R5.10.31）

・アンケート結果の報告→**社会実験を年度末で終了し、タクシー乗場は設置継続**

・検討対象地域の候補の抽出→**４つの候補地域の抽出**

・導入可能な対応方策候補の整理→**考えられる対応方策の候補を提示**

（↓）
・アンケート結果と地域特性を踏まえた詳細な分析
・候補地域、導入サービスの検討整理

第３回（R6.2.5）

今回

・検討対象地域の選定　→　**４つの候補地域から、アンケート結果や立地条件を踏まえ、対象とする地域を選定（資料１－２、１－３）**

・導入サービス候補の整理→　**考えられるサービスの比較検討（資料１－４）**

（↓）

次年度

今回選定した地域において、移動に関する課題や意向を詳細に調査するとともに、地域住民との検討を実施する。

○公共交通サービス水準の相対的に低い地域への取組みについて

令和６年度の取組み（案）

現況把握（地域特性の詳細整理）

・人口、道路などの地理的状況

・生活関連施設、余暇関連施設

・生活スタイル　など

需要把握（移動の実態、傾向）

・満足できていない移動

・頻度の高い移動

・金銭負担をして乗る価値のある移動

対応方策検討

・目的と目指す姿

・ターゲットとする需要の取り込み策

・持続可能性（経費負担、人材）

アンケートの実施・分析

・令和５年度アンケート結果の活用

・令和６年度に対象範囲を広げた新たなアンケートの実施・分析（令和５年度結果を参考にして、需要等を深堀りしていく）

地域住民との勉強・検討

・社会情勢の変化、今後の展望

・「あったらいいな」からの卒業

・地域の実情に合わせた「共創」